

報道関係各位

2023年8月2日

株式会社サンシャインシティ

水族館&いきものを深掘り！発見がいっぱい！

いつでも、どこかで“何かが起きている”サンシャイン水族館がお届けする

いきものディスカバリー通信vol.20

「隠れ身の術など多彩な技を持つ海の忍者“イカ”」

イカの持つ多彩な変化をご紹介します

サンシャイン水族館(東京・池袋、館長：丸山克志)では、館内1階「海の忍者」水槽にて常時3種類ほどのイカを展示しています。普段あまり注目されることのないイカですが、意外と知らない驚くべき生態を持ち、地球上最も?!とも言われるほど奇抜な姿と多彩な技を持つ生き物です。本通信ではそんなイカの知られていない生態や魅力、奥深さについてご紹介します。



多彩な術を解説！！

分身の術
体色変化
ジェット噴射



サンシャイン水族館の アオリイカ動画集

・アオリイカの推しポイント解説動画

<https://youtu.be/WOGZR2TEOjA>

・展示水槽のイカ1時間動画

<https://youtu.be/WcGlcdHcum8>



■そもそもイカとは・・・？

イカとは頭足綱十腕形目の軟体動物門に属する生き物の総称。軟体動物というグループに属しており、貝類やタコと同じ仲間、世界中におおよそ500種類のイカが生息しています。

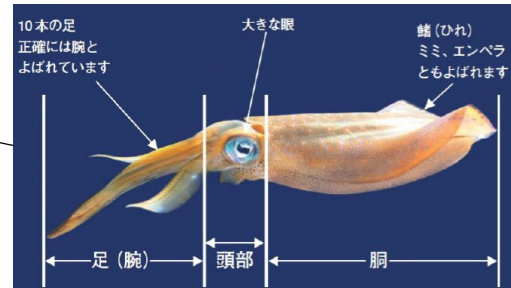
10本の細長い腕をもち、そのうち2本の「触腕」で捕食などをします。特殊な体の構造をしており、普通の生き物は胴から足（腕）が生えていますがイカは頭部から腕が生えていて、頭部の上に胴があるという珍しい種類の生き物です。

■イカの飼育は大変・・・？

イカの飼育は、注意するポイントが多くとても大変です。水槽で飼育しようとすると、吸い込んだ海水を勢いよく吹き出しロケットのように泳ぐため、壁に激突する危険性があります。また、水質や水温の微妙な変化にも敏感で神経質なため、とても飼育が難しく、通年でイカを飼育している水族館は、国内でもサンシャイン水族館を含め、数館程度で大変珍しいです。

極力、音や振動を与えず、水槽内の照明に比べて観覧面を暗くすることで水槽から観覧面を見えづらくし、驚かせないようにしており、ストレスを与えないよう飼育環境にも工夫をしています。また、アオリイカの寿命は1年から長くても1年半程度と言われていて、産卵を終えると死亡するため、通年での展示や繁殖はとても難しい生き物です。

サンシャイン水族館ではイカの安定した通年飼育や繁殖を目指しています。



館内1階「海の忍者」水槽

イカの持つ多彩な術をご紹介します

① ジェット噴射

体内に漏斗（ろうと）と言われる管があり、ここから水を勢いよく噴射することで狙った方向に急発進することができます。
イカが泳ぐ速度は、最高時速41kmと言われおり、イルカの最高時速45kmと比べてもとても速いことがわかります。
またヒレを使ったホバリングが得意なため、その場にとどまることができ、急発進や急停止など海の中を自由自在に動けるのもイカの特徴です。

② 体色変化

イカの皮膚には色素細胞がたくさん並んでおり、精神状態や周囲の環境によって体色を自在に変化させることができます。
イカは興奮した状態のときによく色を変えることが知られていますが、天敵から逃げる際に周りの環境に溶け込みカモフラージュする時や、天敵に対する威嚇を行う時、また求愛などコミュニケーションをとる時に体色変化が起こります。

③ 分身の術・隠れ身の術

イカもタコ同様に墨を吐くことで自分の身を守ります。
タコの墨はさらさらしており、吐かれた墨は煙幕のように広がりますが、イカの墨は粘り気があり、イカが去った後も海中にまとまって残るため、イカの分身のように見えます。
外敵に襲われた際、墨の分身に気を引かせることで外敵から逃げるすることができます。



←丸い形でとても小さい体を持つ小型のイカ、ミミイカは、敵から狙われやすい昼間は砂の中に潜っています。そのため、自分の体に砂をかけて隠れる様子はとても愛嬌がありダイバーにも人気です。

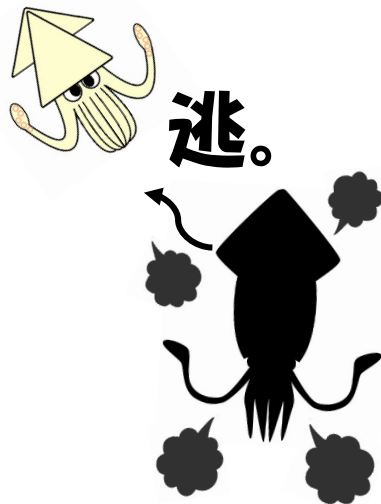
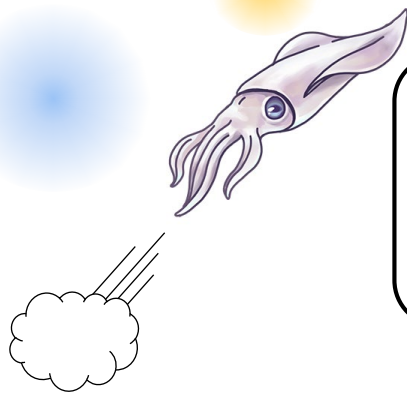
↓ミミイカが砂の中に隠れる様子は必見！



<https://x.gd/yueWS>

④ 飛び道具

イカには触腕と呼ばれる獲物を捕らえる際に使用する左右一対の腕があります。普段触腕は内側にしまわれていますが、非常に長く伸縮性があり、バネのように素早く伸ばすことで獲物を捕らえています。先端部にはのこぎりの刃のような形状のギザギザの吸盤があるため、獲物が逃げないように捕らえることができます。また、捕らえた獲物を抱え込むために他の8本の腕を使い、イカは10本ある腕を器用に使い分けています。



■サンシャイン水族館（通常営業）概要

所在地：東京都豊島区東池袋3-1 サンシャインシティ ワールドインポートマートビル・屋上

営業時間：9:30～21:00 ※最終入場は終了1時間前 ※変更の場合あり

入場料：大人(高校生以上)2,600円～、こども(小・中学生)1,300円～、幼児(4才以上)800円～ ※変更の場合あり

問合せ先：サンシャイン水族館 03-3989-3466 <https://sunshinecity.jp>

※土日祝日および特定日は、入場制限を行っておりますので、事前予約（日時指定・日付指定）が必要です。詳しくは、水族館 ウェブサイトをご確認ください。

いきものディスカバリー通信の

アーカイブはこちらから→

<https://sunshinecity.jp/aquarium/animals/discovery/>

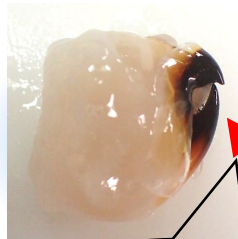


報道関係者様からの
お問い合わせ先

株式会社サンシャインシティ コミュニケーション部 広報担当 成保・深野・佐藤・大浦
TEL.03-3989-3329（平日9:30～18:00）FAX.03-3989-3451 pr@sunshinecity.co.jp

共同ピーアール株式会社 PRアカウント本部11部 内山・田口・高橋
TEL.03-6260-4861 sunshinecity-pr@kyodo-pr.co.jp

■ 体にはどんな特徴があるの・・・？



イカには変わった形の「カラストンビ」と呼ばれる口があります。噛まれると痛い、鳥の嘴(くちばし)に似た下顎(あご)と上顎(あご)の構造になっています。これで食物を噛み切ります。



イカは目の構造が人間とよく似ていて、とても視力が高い生き物です。色は見えていないと言われていますが、白黒でも濃淡の識別能力は高く、高性能な目を持っていると考えられます。

上顎(あご)はカラス、下顎(あご)はトンビの嘴(くちばし)のような形をしているからカラストンビ！



■ アオリイカは何を食べるの・・・？

アオリイカは自然界では、小型の甲殻類や魚類を捕食しています。当館では主にエビやキバナゴを与えています。

■ サンシャイン水族館のイカ紹介



<アオリイカ>

胴長50cm程度に達する大型のイカで体重は最大で6kg程度に達します。料亭などで消費されることの多い高級な食材としても知られています。



<コブシメ>

沖縄諸島にみられる大型のコウイカ。あまり泳ぎが得意ではなく、穏やかな海域を好むのでダイビングをしている人が見かけることも多く、繁殖時にはピンポン玉のような卵を産みます。



<バンドウイカ>

フィリピンやインドネシアなどの浅瀬のサンゴ礁に生息。胴の長さが5cm程度の比較的小さな種類です。小型の甲殻類や魚類を捕食します。



<イカをこよなく愛するイカ Lover 第一人者のコメント>

イカは美味しい以外にも魅力がいっぱい！約500種もいるイカは姿かたちが様々で、透き通る体のイカ、岩に擬態するイカ、海底を歩くイカなど想像以上の多様性があります。彼らは体色変化が得意で、同じ個体でも一瞬目を離れた際に全く違う姿になっていたりします。サンシャイン水族館には常に複数種のイカが展示されているので、種類ごとの違いも楽しめますし、同じ個体をじっくり観察することで、思いもよぬシーンに立ち会えるかもしれません。日本いか連合 いかいかよしかさ

※日本いか連合…イカの魅力をもっと知ってほしいという思いで活動する組織。イカを食べながらイカの話をするイカパーティーの開催、水産庁コラボページ「イカペディア」の作成、オリジナルイカング(いかならべ)のリリースなど、皆様の日常にイカが溶け込む様、多岐に渡る活動を行う。

<飼育スタッフのコメント>

イカは皆さんにとっても「食」という面ではとてもなじみのある生き物かと思えます。イカは食べて美味しいだけでなく、多くの魅力がある生き物です。展示を見たお客様からの「美味しそう」という声は、生き生きとした展示が出来ているというお褒めの言葉として受け止めています。一年間を通してイカを見られる水族館は日本国内では数館です。ぜひサンシャイン水族館のイカを見に来てください。

サンシャイン水族館飼育スタッフ 鶴見綾 (つるみあや)



■ サンシャイン水族館 (通常営業) 概要

所在地：東京都豊島区東池袋3-1 サンシャインシティ ワールドインポートマートビル・屋上

営業時間：9:30～21:00 ※最終入場は終了1時間前 ※変更の場合あり

入場料：大人(高校生以上)2,600円～、こども(小・中学生)1,300円～、幼児(4才以上)800円～ ※変更の場合あり

問合せ先：サンシャイン水族館 03-3989-3466 <https://sunshinecity.jp>

※土日祝日および特定日は、入場制限を行っておりますので、事前予約(日時指定・日付指定)が必要です。詳しくは、水族館 ウェブサイトをご確認ください。

いきものディスカバリー通信の

アーカイブはこちらから→

<https://sunshinecity.jp/aquarium/animals/discovery/>



報道関係者様からの
お問い合わせ先

株式会社サンシャインシティ コミュニケーション部 広報担当 成保・深野・佐藤・大浦
TEL.03-3989-3329 (平日9:30～18:00) FAX.03-3989-3451 pr@sunshinecity.co.jp

共同ピーアール株式会社 PRアカウント本部11部 内山・田口・高橋
TEL.03-6260-4861 sunshinecity-pr@kyodo-pr.co.jp